

人を診て、医師として育ち行く。

この度、燕労災病院で3週間総合診療科の臨床実習をさせていただきました。

燕労災病院では初めての臨床実習の受け入れということで、先生方やコメディカルの方々のご迷惑になることも多々あったと思いますが、医療スタッフの皆様が優しく丁寧に指導してくださり、とても暖かきの溢れた実習環境でした。

燕労災病院では病院全体が「学生に一つでも多く経験を積ませたい」という思いで溢れています。総合診療外来での診察に留まらず、採血・静脈路確保といった基本的手技や救急外来での初期対応、放射線科での画像読影、消化器内科での超音波検査や内視鏡検査など各科の垣根を越えて沢山の経験をさせていただきました。

総合診療外来では指導医の先生のバックアップのもと、問診から身体診察、カルテ記載、検査オーダー、薬の処方まですべて私の主体性を尊重していただきました。

実際に診察をしていく中で、多彩な患者さんの症状に対してどのようにアプローチしたらよいかわからず苦悩を強いられることも少なくはありません。

しかし、全ての患者さんが共通して持っている病気に対する不安や苦しさに耳を傾け、診療の中で少しでもそれを取り除けるように努力することだけは忘れずに行っていました。

その中で患者さんに「色々な病院を回って不安に感じていた時に、ここの病院でしっかり検査をして説明をしてくれて、自分で納得することができて安心した。ありがとうございます」と言っていたことが印象に残っています。

沢山の患者さんを診療させていただく中で、私も医師としての成長を遂げていると強く感じることができました。この3週間で学んだことを糧に、日々精進していきたいと思います。

最後になりますが、実習を支えてくださった先生方をはじめ病院全体のスタッフの皆様にご感謝を申し上げます。